

えりも小学校 津波への対応



～ 「もしも…」を想定し、**より安全策**を～

2023年（令和5年）8月		津波注意報	津波警報	大津波警報
発表される津波の高さ		1m	3m	5m以上
巨大地震時の表現		—	高い	巨大
一般的に取るべき行動		急いで海から離れ、解除されるまで海や河口に近づかない。	すぐに高台や高い建物などの安全な場所へ避難。警報解除までは安全な場所から絶対に離れない。	
想定される被害		数十センチでも人は流れに巻き込まれる。	標高の低いところでは浸水被害。人も流される。	車や木造家屋などが全壊し、流される。
学校にいる時	避難	校内待機 （海拔 22m 以上） <ul style="list-style-type: none"> ●授業中止、安全確保 ●避難準備、待機 ●状況に応じて2階避難 ●屋上は海拔 30m 	学校裏えりも神社に避難 （海拔 53m 以上） <ul style="list-style-type: none"> ●津波到達予想が 10分以内の場合、校舎内垂直避難も ●児童は何も持たない。職員は防災バッグ、携帯電話 ●天候や季節によって、防寒や外靴を整える ●地域住民や保護者が学校にきた場合も一緒に避難 	
	引き渡し（お迎え）	学校（校舎）で、引き渡しは行いません <ul style="list-style-type: none"> ●注意報、警報解除後、安全を確保しながら混乱なくできると判断してから引き渡し ●引き渡しの時間や場所、手順は、学校からの安心メール等での連絡 <p>★東日本大震災では、保護者引き渡し後に犠牲になった子供（幼・保、小中高校）は、200名以上いたことが判明しています。園や学校に残り、集団避難した子どもたちのほとんどは無事でした。もし学校にお迎えに来られた方は、児童、職員と一緒に避難していただきます。</p>		
登下校中		身を守る、高い所へ逃げる、助けを求める <ul style="list-style-type: none"> ●地震がおさまるまで、頭を守るなど安全を確保。 ●学校か自宅の近い方、高いところへ避難。周りの大人に助けを求める。 		
自宅にいる時		原則、臨時休校 <ul style="list-style-type: none"> ●津波襲来の恐れのある注意報・警報発令中は、登下校させません ●各ご家庭で情報を確認し、ご家族の身の安全を確保してください ●学校再開等の連絡は、状況に応じて安心メール等などでお知らせします <p>★地震、津波以外でも、暴風雨（雪）やその他の災害等によって、停電、通信環境異常により学校に連絡できない、学校から連絡が来ない場合は自動的に臨時休校とします。（復旧後に改めて説明）</p>		

※いつも見えるところに掲示をお願いします。想定外を想定し、より安全な避難を心がけましょう。